

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【新開小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	昨年度と比較し、国語・算数ともに、「知識・技能」の定着が図れた学習内容が多くなった。これはICTを活用した学習や習熟時間・学習相談機会の確保、「ドリルパーク」「スタディ・サブリ」等の活用等が成果として考えられる。しかし、個人差は大きいことから、来年度も児童一人ひとりの実態に合わせた個別最適な学びを展開できるよう、更なる授業改善に取り組んでいきたい。
思考・判断・表現	学校課題研修テーマ「ICTやタブレット端末を効果的に活用した学習指導」の3年間の成果として、授業実践の積み重ね・共有化を図ることができ、目標を大きく達成できた学年もあった。来年度は、学校課題研修のテーマを「教科横断的な視点に立った探究的な学び」とし、ESDの視点に立ち、自ら問いをもち、主体的・協働的に探究する学習の充実を図ってきたい。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度学校評価アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいますか。」の質問項目において、昨年度の割合を超えていることを踏まえ、来年度も継続して肯定的な回答の割合を維持できるようにしていきたい。また、「学校の授業は、楽しくて分かりやすいですか。」の質問項目においても、肯定的な回答の割合を向上できるように、主体的・対話的で深い学びの実現に努めていきたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和4年度全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「知識・技能」の回答の割合を1pt向上させる。	⇒ 算数タイムや面談の時間を活用し、学習相談に取り組む。新出漢字の練習時間や「ドリルパーク」「スタディ・サブリ」等を活用する時間を確保し、児童一人ひとりの理解度・習熟度に合わせた「知識・技能」の反復・習熟に取り組むことで、個別最適な学びの充実を図る。
思考・判断・表現	令和4年度全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」の回答の割合を1pt向上させる。	⇒ タブレット端末やデジタル教科書等のICTを効果的に活用した学習活動を行う。また、オクリンクやムーブメントのカード機能を活用し、児童同士の考えを共有することで、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度学校評価アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいますか。」の質問項目において、令和4年度の値より肯定的な回答の割合を1pt以上向上させる。	⇒ 学習課題の明示と振り返りを位置付けた授業を展開する。また、本時のねらいと解決方法の見通しをもたせることで、児童一人ひとりが自力解決に向けて取り組むことができるようにする。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	令和5年度全国学力・学習状況調査において、令和4年度全国学力・学習状況調査と比較し、国語11pt、算数3pt向上し、ともに目標を達成した。令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度さいたま市学習状況調査と比較し、国語は0.2pt下回ったが、算数は昨年より2.7pt向上し、目標を達成することができた。	A
思考・判断・表現	令和5年度全国学力・学習状況調査において、令和4年度全国学力・学習状況調査と比較し、国語16pt、算数7pt向上し、ともに目標を達成した。令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度さいたま市学習状況調査と比較し、国語は4pt向上し、目標を達成した。算数は目標を0.5pt下回ったが、8割以上は達成した。	A
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度学校評価アンケート「自分から進んで学習に取り組んでいますか。」の質問項目において、令和4年度の値より肯定的な回答の割合が2pt向上し、目標を達成することができた。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析(4月)	
知識・技能	国語は、言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項共に概ねよくできた。今後も児童一人ひとりに合わせた反復・習熟に取り組む、個別最適な学びの充実を図っていく。算数は、数と計算、図形、データの活用に関する課題が見られた。基礎的な技能の定着をより一層重視し、ICT等の活用によって確実な習得ができるよう学習活動の工夫を行いたい。
思考・判断・表現	国語は、「話すこと・聞くこと」に関する領域はよくできたが、「書くこと」に関する領域は課題があったため、日頃から振り返りや感想文などの書く活動をより重視したい。算数では、特に記述式の問題に課題があったため、自分の考えを説明する活動を十分にやり、理由や根拠をもって学習に取り組めるよう指導していきたい。
主体的に学習に取り組む態度	全国学力・学習状況調査の解答率については、昨年度より無解答率が大きく下がり、非常に良好な結果であったので、引き続き粘り強く取り組む姿勢を育てていきたい。質問紙調査では、「国語の勉強は好きですか。」の質問項目は良好な結果であったことに対し、「算数の勉強は好きですか。」の質問項目は課題が見られた。「算数の勉強は大切だと思いますか。」「算数の授業の内容はよく分かりますか。」の質問項目においては良好な結果が見られるので、児童の関心・意欲が高まるように授業展開を工夫し、学習意欲の向上を図りたい。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析 ※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。			
小3	令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度調査と比較し、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに向上が見られた。領域では、国語は特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」の定着が図られているが、「我が国の言語文化に関する事項」に課題があった。算数は特に「数と計算」「測定」の定着が図られているが、「図形」に課題があった。	小4	令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度調査と比較し、「知識・技能」は国語に課題が見られ、「思考・判断・表現」は算数に課題が見られた。領域では、国語は、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」に課題があった。算数は、特に「数と計算」に課題があった。
小5	令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度調査と比較し、国語の「知識・技能」については向上したが、「思考・判断・表現」や算数については課題が見られた。領域では、国語は特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」に課題があった。算数は、「データの活用」に課題があった。	小6	令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度調査と比較し、国語の「思考・判断・表現」は向上したが、「知識・技能」や算数については課題が見られた。領域では、国語は、「書くこと」の定着が図られているが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題があった。算数は、特に「変化と関係」「データの活用」に課題があった。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
	目標		策
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし

